令和６年度　スタートカリキュラム　　多様性に応ずるスタートカリキュラム　（子ども理解に基づく、一人一人の子どもが主人公に）　　三原市立幸崎小学校

小学校１年生の終わりまでに育ってほしい児童の姿：自分自身が考え、決めて、実行する。安心して何回もチャレンジする。

月	4　5	6　7　(8)	9	10　11　12	1　2　3
期	Ⅰ　期　（4月、5月）	Ⅱ　期　（6月、7月）	Ⅲ期(9月)	Ⅳ期　（10月、11月、12月）	Ⅴ　期（1月、2月、3月）
行事	始業式・入学式・一年生を迎える会・交通安全教室・縦割り班活動開始・学区児童会・代表委員会・健康診断・身体測定・授業参観・体力テスト・運動会・終業式・全校登校日		始業式・避難訓練・代表委員会・学区児童会・社会見学・授業参観・授業研究・教育研究会・学習発表会・終業式		始業式・防犯教室・持久走記録会・体力テスト・六年生を送る会・卒業式・学区児童会・離退任式・修了式

育ってほしい児童の姿

【４月当初の児童の姿】
・どんな勉強するのかな。
・小学校ってどんなところかな。
・給食が楽しみだな。
・一人でできるようになりたいな。
・友だちたくさんできるかな。
・お兄さんお姉さんと遊びたいな。
・先生といっぱいお話したいな。

・自分から進んで挨拶をすることができる。
・困っていることを伝えることができる。
・自分から友達に話しかけることができる。
・周りの友達を見て行動をすることができる。
・話をしている人の方を向いて聞くことができる。

二学期始め
・大きな声で挨拶をすることができる。
・友だちに進んで声をかけることができる。
・相手のことを考えて話をしたり、行動したりできる。
・きまりを守って行動することができる。

・相手意識をもち、気持ちの良い挨拶ができる。
・困っている友達を見るとどうして困っているのかを考えようとする。
・自分から友達に話しかけることができる。
・周りの友達を見て何をしたらよいのかを考えて行動することができる。
・年下の子にやさしく接することができる。
・異学年の児童とも関わることができる。
・話をしている人を意識しながら聞き行動できる。

・時と場所を考えて自分から進んで気持ちの良い挨拶ができる。
・相手のことを思って接することができる。
・自分で考えて行動することができる。
・協力して目的に向かって行動することができる。
・友だちの話を聞いて自分の考えを広げ、言葉や文字で表現することができる。

単元構成

計画に沿った教科・領域等の学習を進める。

学びの自立（ぐんぐん）	・机やロッカー等の名前に興味をもつ。(国･生) ・友達の名前に関心をもつ。(学･生)　・座り方を知る。(生) ・自分の出席番号を意識する。(算･生)・話の聞き方を知る。(国･生) ・正しい鉛筆の持ち方を知る。(国･生) ・机のシールを見て自分の名前を書く。(国･生) ・音楽に合わせて表現する。(音･生)・好きなものを絵で表す（図･生)	・好きなものを絵で表す。(図･生) ・絵から分かることを考えたり、話したりする。(国･算) ・１対１対応をする。(算･生) ・多い少ないの関係が分かる。(算･生) ・字を見ながら音を聞いて一緒に音読をする。(国) ・絵や言葉から想像し、ことばで表現する。(国) ・絵から分かることを話す（算･生･国) ・相手を見て話を聞く。(国･生)	・書き順に気を付けて文字を書く。(国) ・数と数字を対応させる。(算) ・数字の書き順を知る。(算) ・文や絵から場面を想像する。 「おおきなかぶ」(国) ・どうしてそうなるのか疑問に感じたり、考えたりする。「こんなことしたよ」(国)	・夏休みの出来事を話すことによって友だちに興味を持ち、かかわりを深める。「はなしたいなききたいな」(国･生) ・お話を読んで、登場人物の気持ちを考えることを通して、日常生活の自分をふり返ったり、友達の気持ちを考えたりする。「おはなしをよもう」(国･生) ・提出物やグループなどの数を数えて確認したりできる。「20 までのかず」(算・体・特・生)	・学習への構え･姿勢･鉛筆の持ち方･返事をより良くすることができる。(書・生) ・発表の仕方・話を聴く態度などをしっかり身につけている。(生・国・算)
生活上の自立（わくわく）	・挨拶の仕方を知る。(道･生)　・時刻、時間を意識させる。(生) ・帰る地域の並び方が分かる。(生)・はみがきをする。(特･生) ・くつや上履きの入れ方を知る。(生･特)・傘の入れ方を知る。(特･生) ・外部の人にも挨拶をする。(道・生) ・健康観察の仕方を知る。(特･生)・トイレの使い方を知る。(生･特) ・ランドセルや荷物の片付け方を知る。(生･特) ・マナーを守って給食を食べる。(特･生)・体操服に着替える。(体･生) ・自分の服をたたむ。(体･生)・体育の並び方を知る。(体･生)	・周りの人のことを考えた立ち方、座り方を知る。(生) ・足を床につけ、背筋を伸ばして座る。(生) ・落ち着いて話を聞く。(生)	・協力して運動会の演技を行う。(体･行) ・きまりを知る。 「なにをしているのかな」(道) ・他の学年とも一緒に行動することができる「がっこうだいすき」(生) 学校探検（２年生と交流）	・自分が育てた朝顔の種取りを友だちと協力して行い、一緒に数を数える。 「きれいにさいてね」(生・算) ・友達と仲良く虫を探したり、自然を観察したりする。 「いきものとなかよし」(生)	・異学年や地域の人とも楽しく接する。(生) ・協力して仲よく行動する。(生・特) ・きまりのわけを考えて、自分から進んできまりを守ろうとする。(生・特)
精神的な自立（なかよし）	・自分のそばの子に関心をもつ(生) ・高学年の児童と関わる。(生･行) ・クラスの友達を知る。(特･生) ・友だちや先生の名前を覚える。 ・上級生と一緒に行動する。(特･生)	・同じ学区や縦割班のお兄さんお姉さんの名前を知る。(特･生) ・上級生に話しかけたり、自分から働きかけたりする。(特･生)	・嫌いなものも食べようとする。(生･特) ・外で元気よく遊ぶ。(生･特) ・生物を大切にそだてようとする。(生) ・時間内に給食を食べきろうとする。(特・生)	・生き物を観察することを通して、命を大切にする気持ちを育てる。 「いきものとなかよし」(生) ・ルールを守って行動をする。(生・道) ・身の周りの物を整える大切さに気付く。(生) 「そろっているけど（道)	・命（動植物）を大切にしようとする。(生・道) ・休憩時間には、友だちを誘って外で元気よく遊ぶ。(生・特) ・集団の遊びを工夫しながら行う。(生・特)

連携活動

はじめまして会・読み聞かせ・運動会・こども園、保育所の教師による参観・児童についての連携　　七夕集会・学習発表会・読み聞かせ・おもちゃまつり　　小学校のことを教えよう

指導上の配慮事項

○この時期の児童の特性をふまえ、生活科を中核とした合科的・関連的な指導を工夫する。
○入学当初は、15 分モジュールを取り入れるなど、単位時間を柔軟に考えて計画する。
○学習環境に配慮し、一人一人が安心感をもち、生活や学習ができるようにする。
　・落ちつける空間をつくる。　・机の配置（グループ机）の工夫・図書室（絵本の部屋）の活用
　・掲示物の高さ（児童の目の高さを考慮）・使いやすさを考えた整理整頓の仕方
　・机上の整理（学習用具の位置・消しゴムのカスの扱い　など）
○年度当初の指導体制を整える。　～保護者ボランティアによるサポート　など
○学校体制として小学校のスタートを支えるために、教職員全員で共通理解を図ると共に、挨拶や声かけなど、学年や担当を超えたかかわりを積極的につくっていく。
○1 日の生活がスムーズに進められるようにするために、視覚支援を大切にする。(環境構成の工夫)
　・1 日のスケジュール表の活用…時計・文字・絵・写真等を併用して分かりやすく表示する。
　　（幸崎幼・幸崎保で使用しているスケジュール表に準じて作成する。）
　・掲示物（姿勢・片付け・約束など）には、文字と共に挿絵や写真等を併用し、分かりやすく示す。
　・特に、ロッカーや靴箱の使い方、机の中の整理、鉛筆の持ち方、手洗いやトイレの使い方などについては、必要に応じて拡大掲示や手順に沿った掲示を行うなど、わかりやすい工夫をする。
○挨拶や声かけを大切にし、習慣化させるとともに、児童が互いに挨拶や声かけができ、進んで友達とかかわる学級づくりを進めていく。(健康観察・自己紹介・当番活動・配り物・集団遊び　他)
○児童のふり返りを大切にして指導を進める。
○声に出して表現することを大切にした指導を行う。(音読・摸倣読み等)
○スタートカリキュラムのねらいを反映させるために、学習内容に応じた学習形態を工夫し、週案に位置づけ、段階的な指導を進める。
　・一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした活動(なかよしタイム)
　・生活科を中核とし、活動を中心とした学習（わくわくタイム）
　・教科等を中心とした学習（ぐんぐんタイム）
○「学びの自立」「生活上の自立」「精神的な自立」を意識した単元構成により、アプローチカリキュラムの活動区分である「生きる力」「かかわる力」「学びの芽」とのつながりを考慮し、学びのつながりを大切にした指導を行う。
※「お・か・し」を重点的に指導する。(お…おわりまで、か…かおを見て、し…しんけんに(相槌)

○２学期始めには、学びの姿勢や準備等の立て直しを考慮した指導を行い、生活リズムの回復と気持ちの切り替えを図り、スムーズに学校生活に戻れるように指導する。
（点線枠内）
○多様な集団での活動を段階的に経験させ、より多くの友だちや異年齢の集団で自分を表現し、楽しく活動できるようにする。(他学年との交流、こども園･保育所園児との交流、登校班、縦割り班活動、全校での活動　など)
○ソーシャルスキルの学習により場面に応じた挨拶や言葉かけ、対応の仕方を知らせ、実際の場面でできるようにする。
○学級の友だち一人一人のことについて、よく知り、より深くかかわりがもてるように、指導の場を作っていく。
　・健康観察の指導を通して、周りの友達の健康状況を気にかけ、声かけや配慮の仕方や、欠席の場合の健康観察の言い方を知り、学級の友だち一人一人の状況を知ろうとする意識を育てる。
　・自己紹介や、日記の紹介、自分の出来事の紹介、家族のこと　などを話す場を段階的に作っていく。
　・友達の話を聞き、質問をする、感想を言う、共感する、代弁する　などができるように、段階を追って指導の場を作っていく。
　・グループ遊び、学級遊びや、協力して行う活動を設定し、力を合わせることや自分の思いを伝えることができるようにしていく。
　・友だちを誘ったり、教えたり、助けたりする場を意図的につくっていく。
　・当番活動や係り活動を段階的に導入し、コミュニケーションを広げ、深める指導を行う。
○給食準備や掃除、遊びなど、お世話をしてくれる 6 年生のお兄さん、お姉さんの名前や顔を覚え、自分から話しかけたり、挨拶やお礼を言ったり、楽しく会話をするなど、積極的にかかわることができるように支援する。
○縦割班掃除へ参加していくことにより、異学年の児童とも仲良くし、協力して掃除をすることや挨拶や反省の仕方などを学んだりさせていく。
○多様な集団での活動を通して、約束やルールを広げ、場に応じた行動ができるようにする。
○教室から、学校内の他の教室や特別教室、職員室や保健室など、行動の範囲を徐々に広げ、コミュニケーションの範囲を広げ、多くの人とのかかわりをつくっていく。
　職員室への入り方、保健室の利用、特別教室の使い方　など
○姿勢や話の聞き方、話し方、活動の仕方、ルールを守ることなどについて、視点をもって自分の学校での生活を振り返る場を導入し、記録したり、言葉で表現したりする方法を段階的に指導していく。
○読書や読み聞かせ、音読を毎日行い、本に親しみ、声に出して読むことの楽しさを味わわせていく。

家庭との連携

○一週間ごとの学校での学習の予定や児童の様子を丁寧に伝え、保護者が、学校生活の見通しをもち、安心できるようにする。
○声に出して読むことの大切さと学校での取組を伝え、家庭でも、毎日の読み聞かせや親子で絵本等を読む時間をもつように連携する。
○必要に応じて、保護者ボランティアによる協力を依頼する。

○家族との関わりや地域の人との関わりを大切にし、保護者が、児童と周囲の人とをつなぐ役割を果たせるよう、学習の場をつくる。
（学級懇談会･講演会・コミュニティースクールプログラム　など）
○児童への言葉かけや読み聞かせ、音読など、年間を通して継続して行うことの大切さを伝え、各家庭での様子を交流しながら、継続して行えるように働きかける。